

経営比較分析表（令和6年度決算）

千葉県地方独立行政法人香取おみがわ医療センター 香取おみがわ医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	14	-	ド透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	10,159	第2種該当	-	10:1

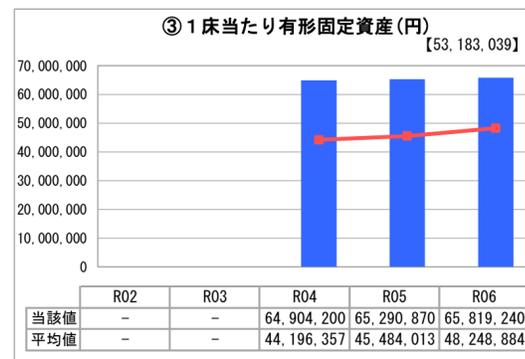
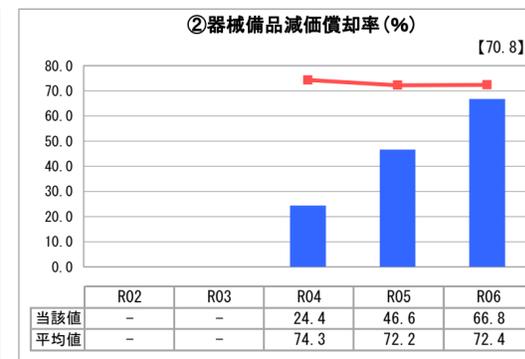
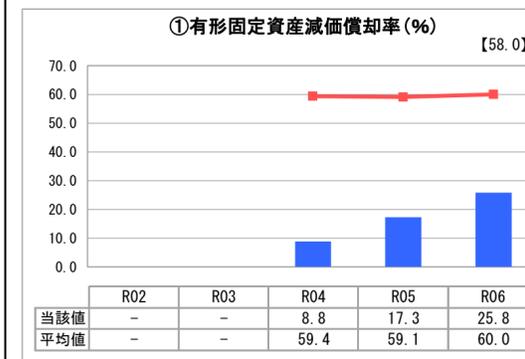
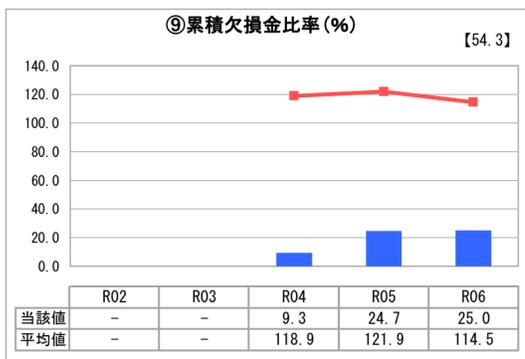
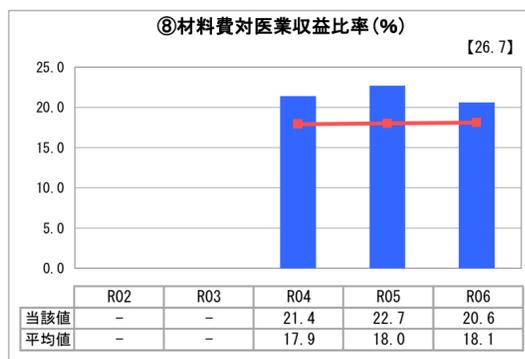
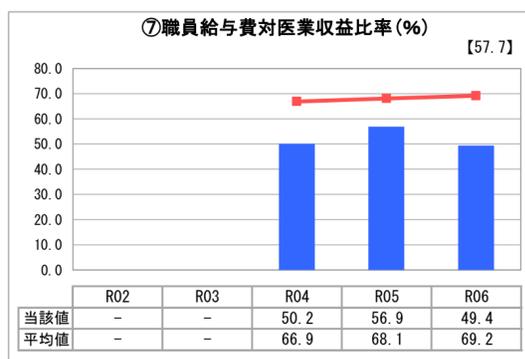
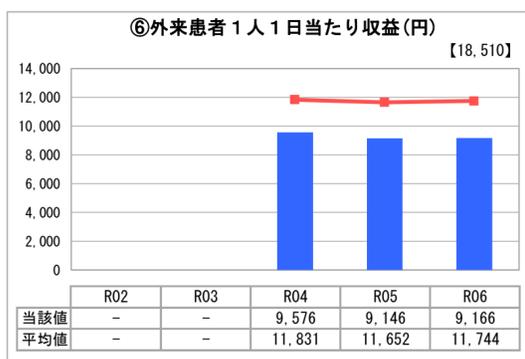
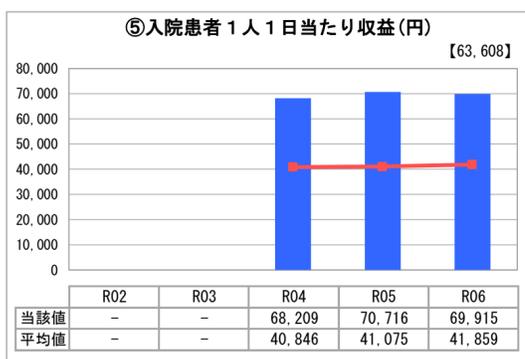
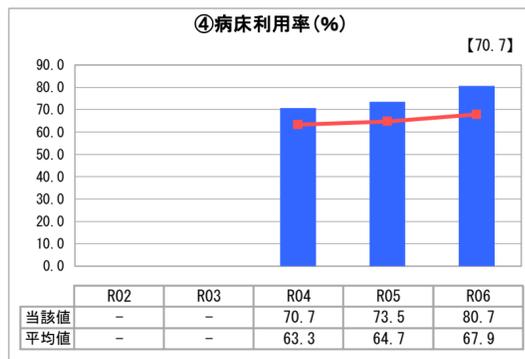
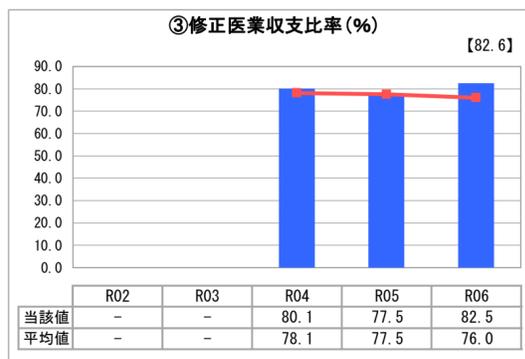
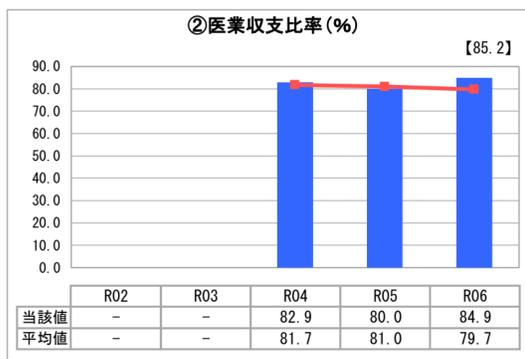
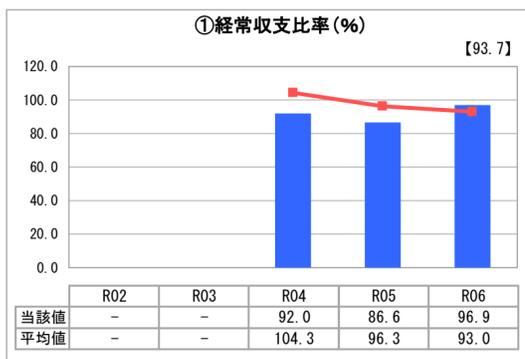
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
100	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	100
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
97	-	97

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
-	令和4	-
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

令和4年4月、当医療センターは地域の要請に応じた良質で安全な医療を継続的に提供するとともに、他の医療機関及び香取市と連携して、住民の健康の維持及び増進に寄与することを目的として、地方独立行政法人化した。

急性期医療から在宅医療を総合的に担う地域の中核病院であるとともに、公立病院として担うべき救急医療や一般診療と民間では限界のある高度専門的な医療を提供し、地域医療水準を向上する役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

通常の経営活動に係る収益状況の指標たる「①経常収支比率」は、前年度より10.3ポイント改善し、類似病院平均値との比較でも上回り、また、悪化傾向であった「⑨累積欠損金比率」が横ばいと、経営の健全化への兆しが見えてきた状況にある。

その主たる要因を分析すると、まず、「③修正医業収支比率」が前年度より5.0ポイント上昇したこと、また、「④病床利用率」及び「⑧材料費対医業収益比率」の改善も一因に挙げられる。

2. 老朽化の状況について

令和元年9月に新病院庁舎等の取得及び供用を開始しているため、減価償却率は類似病院平均値を下回っている。

その一方で、「③1床当たり有形固定資産」が類似病院平均値と乖離しているため、当医療センターの投資規模は類似病院よりも大きいと言え、また、「②器械備品減価償却率」の増加が顕著であるため、更新時期の迫った医療器械備品が多く存在していると判断される。

全体総括

人口減少に伴うサービス需要の減少や、人材確保問題、そして、物価高騰等に起因する費用の増加など、現在、地域医療を取り巻く経営課題は山積している。

しかしながら、その状況下でも、当医療センターは地域医療の存立という目的を今後も達成し続けなければならない。

そのためには、まず、住民のニーズを的確に捉えた病院経営を行うことで安定した医業収益を実現し、また、人材育成の基礎となる教育環境等を整備して人材確保と定着に繋げ、そして、投資の適切性を保持して限られた経営資源を効率よく配分することで費用の増加に対応していく等の取り組みが必要となる。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。